

フレー！フレー！未来の社長

墨田区は企業の未来を応援します！



墨田区事業承継コーディネーター 弥富尚志

墨田区は、区内の企業が将来に向けて、事業を円滑に引き継げるよう、「事業承継支援事業」に精力的に取り組んでいます。これまで、区や商工会議所、地元金融機関などが連携し、事業の継続・拡大・承継のサポートなど、全国的にも先進的な事業を進めてきました。

今回は、ものづくりの街すみだを未来につなげていくために、今年度始めた新たな取組をご紹介します。

【問合せ】経営支援課経営支援担当 ☎5608-6184

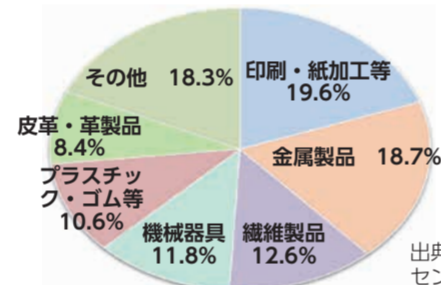
すみだはものづくりの街

「生活用品が全てそろそろ墨田区」と言われるほど、すみだではものづくりが盛んです。特に印刷、機械・金属、繊維、プラスチック・ゴム、皮革等の業種が多く、いずれも私たちの生活と関わりが深いものばかりです。また、すみだには、従業員が5人～6人の小規模な

工場が多いのも特徴です。

このような区内産業をさらに活性化するため、区では、全国初となる中小企業振興基本条例を昭和54年に制定し、多様な産業振興策を進めています。

墨田区製造業の業種別工場数構成比



出典：平成24年経済センサス活動調査

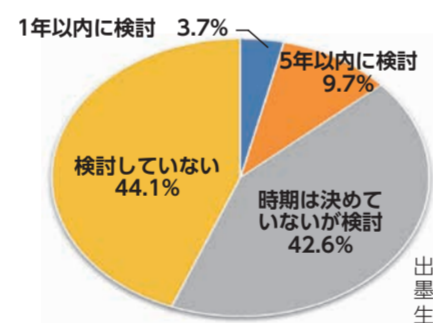
すみだのものをづくりを未来へ

一方、売上の低迷や後継者の不在などにより、廃業を考えている区内企業が数多くあることが、平成25年に行った区の調査で明らかになりました。

そこで、区内の企業が培ってきた、優れた技術やノウハウ・取引先・人材・設備など、

ものづくりのDNAを将来に承継していくため、区では平成26年度から全国に先駆け、経営資産の譲渡や後継者の確保・育成などを支援する「事業承継支援事業」に取り組んでいます。

リタイアを検討している墨田区内事業者



出典：平成25年度墨田区産業活力再生基礎調査

全国に先駆けた取組「未来の社長応援団」

後継者への事業承継は、まだまだ先の話と思っている経営者が多いのが現状です。しかし、事業承継をスムーズに行うためには、時間をかけた、入念な準備が必要です。そのため、事業承継に早い段階から取り組むことの大切さを知ってもらうきっかけに、と始めた事業が「未来の社長応援団」です。

この事業のポイントは、主役が社長ではなく、後継者候補だという点です。中小企業診断士などの専門家のサポートで、後継者候補の皆さんが、将来を考えながら自社の未来図を作成します。完成したら社長に報告し、今後の事業引継ぎなどを考える材料として活用してもらいます。

当社の未来図 = 未来 is 「世界が舞台、すみだのスコ技ものづくり企業」

① 後継者候補としての想い、5年後の絵巻

シェフ [後継者候補プロフィール]
アキラ 0年生まれ
大学卒業後、大手自動車メーカーに就職。趣味は海外旅行。「仕事は私生活を充実させる趣味」をモットーにしている。

メニュー [後継者候補として考える当社の未来]
1. 若い世代が「働きたい！」と思える会社になります！
2. 新製品を開発し、BtoC事業を展開します！
3. 既存事業の収益率を高め、事業基盤を確立します！

レシビク [当社の未来を実現するための基本方針 (大まかな方向性)]

- BtoC事業の立上げに向け、若手社員中心の勉強会を立ち上げる
- 「やりたいことをできる会社」になることを通して「働きたい！」と思える会社にしていく。
- アイデアから企画設計、製造、販売までを一貫してやってみるチームを結成する。
- 直受け比率の向上を目指す
- 利益率の高い直受け案件の受注増を目指す。
- 最近出始めた海外からの問合せを取り込んでいくため、ホームページの英語化を進める。
- 売上の1%を翌年の研修費に充てる

今ある素材 [活かしたい強み]

- 現社長の営業力
- 熟練工が持つ溶接技術
- 国内一歩上場企業からの信頼も厚い
- 常に設計、製造部門が協働してものづくりにあっているため、不良品率が低く、技術的な改善提案もセットで行うことができる
- 外国語が堪能な若手を多く抱えている

仕入れる素材 [身につけたい強み]

- 若手職人
- ホームページの英語化など、海外展開に資するツールの開発

未来図のイメージ(一部)

「未来の社長応援団」の参加者にインタビューしました



写真左：飯島将多さん 写真右：飯島恵藏さん

お話を伺ったのは、東駒形にある「アポロ印刷株式会社」の社長・飯島恵藏さんと息子の将多さん。恵藏さんが2代目として社長になった平成12年頃は、バブル崩壊の影響で取引先の倒産が相次ぐなど、厳しい状況だったそうです。しかし、印刷業界の縮小を見据えた恵藏さんの新規事業開拓により、現在は安定した業績が保てるようになったそうです。

ご当地キャラクター「向嶋言問姐さん」を輩出したのもアポロ印刷株式会社です。



—27歳という若さの将多さんですが、会社を継ぐことについて、どう思っていますか。

正直、まだ会社を継ぐという実感はないですね。入社して4年、今はアポロ印刷株式会社の一社員として、営業の仕事をしていますが、まだ普通の業務で精一杯です。入社してからは、2代目社長である父の苦労話も聞くようになりました。それまでは、父から仕事の話聞いたことがほとんどなかったので、あまり知らなかったんです。時代も変わるし、まだ自信がないな、というのが今の素直な気持ちです。

—専門家との「未来の社長応援団」第1回打ち合わせを終え、感想は？

未来図を作っていくことで、自社を細分

化して見られるので、自分のためになると思います。今は、課題がどこにあるのかも分からなくて不安ですが、課題が1つずつ見えてくれば解決の方法も考えられるし、不安はなくなっていくと思います。

—社長・恵藏さんは、息子さんへの事業承継についてどう考えていますか。

息子が自ら入社を希望してくれました。私は、入社してくれたことだけでうれしいですよ。

私が先代から引き継いだときには、社長としての知識や心構えなどを勉強する機会はありませんでした。このようなサポートを受けることができる息子は恵まれていますね。

—それでは将多さん、今後の意気込みを教えてください。

「未来の社長応援団」事業への参加は、現在の自分に必要なことなのだな、と思います。今は、様々なことを学ぶことが大切な時期だと思うので、この事業を通して、いろいろと吸収していきたいです。



「未来の社長応援団」第1回打ち合わせの様子

事業承継も！相談するなら「すみだビジネスサポートセンター(すみサポ)」へ

■すみサポって何ですか？

すみサポは、区内の経営者・事業者の皆さんが、事業について何でも相談することができる窓口です。ビジネスやものづくりの専門家である産業コーディネーター等から、技術的なことや取引のこと、事業の課題解決、今後の戦略などについて、無料でアドバイスが受けられます。また、各種測定・試験機器や3Dプリンタを、安価な料金でご利用いただけます。



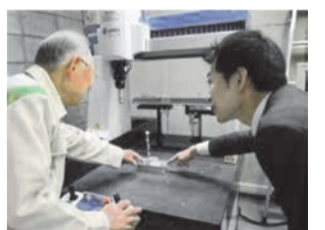
三次元測定機



マイクロスコープ

■相談するにはどうしたらいいですか？

相談や機器の利用には予約が必要です。すみだビジネスサポートセンターまで、お気軽にご連絡ください。



墨田区 産業支援部門

連携

すみだビジネスサポートセンター

産業コーディネーター
ビジネス系
コーディネーター
ものづくり系
コーディネーター

+

アドバイザー
IT
知的財産
デザイン など

すみだビジネスサポートセンター

【利用時間】月曜日～金曜日の午前9時～午後5時 *祝日を除く【ところ】区役所1階【問合せ】☎5608-6360・FAX 5608-6721・✉tech@techno-city.sumida.tokyo.jp